

NEWS 港湾ニュース

■ 香深港耐震強化岸壁の完成について

稚内開発建設部 築港課

香深港は、礼文島の玄関口として稚内や利尻島とフェリー航路で結ばれており、生活物資を輸送する拠点であるとともに、地域の基幹産業である水産業、観光業などを支える拠点として重要な役割を担っています。



しかしながら、礼文島には大規模地震に耐えられる岸壁が整備されていないことから、災害発生時に被災された方の救助や緊急物資の輸送など、災害時における海上からの輸送が大きな課題となっていました。

そこで、稚内開発建設部は、平成14年度から11年の歳月をかけ、大規模地震発生時にフェリー輸送や緊急物資輸送を可能とする耐震強化岸壁の整備を進めてきました。また、礼文町では、耐震強化岸壁の背後に防災緑地を整備し、耐震強化岸壁とあわせて、災害時に被災者の救助や緊急物資の輸送を可能としました。



この度、耐震強化岸壁が完成したことにより、平成26年6月14日に礼文町民活動総合センター「ピスカ21」において、

礼文町と稚内開発建設部の主催により供用式典を開催しました。武部新衆議院議員(代理:秘書 鈴木昭彦)、三好雅北海道議会議員のほか、工藤広稚内市長、保野洋一利尻町長、田村祥三利尻富士町長など、地元関係者約60名が出席し耐震強化岸壁の完成を祝いました。

供用式典では、主催者の式辞に引き続き、北海道局長の代読として深海港政課長は、「供用開始する水深6メートルの耐震強化岸壁は、大規模地震が発生した場合に緊急物資や機材等の迅速な受け入れが可能となるものであり、被災時に果たす役割は非常に大きい」と述べられました。

続いて来賓の祝辞として武部新衆議院議員から代読

にて「香深港が、島民皆様にとって生活を支える頼もしい拠点として、観光客を迎えるあたたかい玄関口として、ますます礼文島の発展に貢献」と述べられました。また、三好雅北海道議会議員が「3500トン級のフェリーが利用できるようになるなど、地域の基幹産業である水産業、観光業などの振興にも貢献するもの」と挨拶されました。

また、前衆議院議員 元農林水産大臣 武部勤様からお祝いのメッセージが寄せられ「礼文島を愛する人々の安全・安心を守っていただき礼文島の生活と産業の振興に貢献する港として繁栄されんことを切にお祈り申し上げます」と紹介されました。

その後、工事概要報告、地元の保育園児らとともにテープカットを行い、耐震強化岸壁の供用開始を出席された皆様と祝いました。



式典終了後に会場を耐震強化岸壁に移し、礼文町主催による防災訓練が行われました。防災訓練は、第一管区海上保安本部の巡視船「れぶん」と消防車を使った放水訓練や島民参加による避難訓練など実践的な訓練が行われました。

完成した耐震強化岸壁は、礼文町で整備した防災緑地と一体となって、災害時には被災者の救助や緊急物資の輸送に、また平常時には物流を担うことで、礼文島の皆様の安全・安心の確保や産業の振興に貢献するものと期待しております。

